

ROTARY CLUB OF KOSHIGAYA SOUTH

会長テーマ：力を合わせ、奉仕を楽しみましょう

<http://www.koshigayasouth-rc.jp>



- ◎ 会長 瀬尾拓也
 - ◎ 会長エレクト 赤松則宏
 - ◎ 幹事 加藤修子
 - ◎ 会報委員長 荒井信宏
- RIテーマ：人類に奉仕するロータリー
地区テーマ：楽しいロータリークラブを作り上げよう



平成28年10月13日 第2073回 例会

【点鐘】

【ロータリーソング斉唱】

【ゲストビジター紹介】

RI 2770 地区

- 米山奨学部門 部門委員長 栗原偉憲 様
- 増進委員長 金杉 豊 様
- 選考委員長 工藤篤志 様
- 選考委員 小林光蔵 様

【会長あいさつ】 瀬尾会長

皆様こんにちは。

本日は、米山月間に因みまして地区の米山記念奨学部門より栗原部門委員長をはじめ、金杉増進委員長、工藤選考委員長と部門を代表する方々がオールスターでお越しいただきました。日頃はたいへんお世話になっております。後程卓話を頂戴したく存じますので、よろしくお祈いします。

米山記念奨学生については、我々の寄付金による奨学金が外国から日本へ来ている志のある学生に学業に専念する機会を与えています。我がクラブでは現在スヌワル・ディペンドラ君を4月よりお世話をしていいますが、直接奨学生を世話することによって、我々も刺激を与えられ、国際理解も深まり、クラブの活性化に繋がっています。

本日は、卓話を聞きながら、米山記念奨学生とは？どんなシステムなのか？寄付金については？世話クラブとは？どのくらいの寄付額の達成度で世話クラブになれるのか？などなど皆さんで考える時間としていただき、義務ではなく自ら進んで寄付ができるよう、また、奨学生とのふれあいを楽しんでいけるようにしていけたらいいかなと思っております。

さて、来週の23日には社会奉仕活動の市民まつりが開催されます。我がクラブでは例年通りの内容にてミニSL・ミニ新幹線を行います。社会奉仕委員会さんにはたいへんご苦勞をお掛けしますが、よろしくお祈いいたします。そして例会変更ともなっておりますので一人でも多くの会員さんにご参加ご協力をよろしくお願い申し上げます。当日は、暑くなるか、寒くなるか、わかりませんが、気温差が激しい季節で

すので、服装などにも気を付けてお越しく下さい。

また、地区大会も一か月後となりました。これからは具体的に私たちが何をするのか、決まっていく時期に入りました。皆様には越谷南RCの会員であることに自覚と誇りを持って地区大会に取り組んでいきましょう。そして、楽しんでいきましょう。

皆様のご理解とご協力を重ねてお祈い申し上げます。



【幹事報告】 加藤幹事

1. 国際ロータリー第2770地区 米山記念奨学部門より2015-16年度 カウンセラー研修会のご案内が届いております。
日時： 2016年11月19日(土) 18:15～
場所： 浦和コミュニティセンター第13集会室 (浦和パルコ10F)
懇親会予定 懇親会費：5000円
*カウンセラーの方は「カウンセラーハンドブック」持参の事
2. 宮古東ロータリークラブより10月5日、6日付岩手日報にて「宮古高校、宮古商業高校ヨット部の記事が掲載されております。皆様のおかげで、充実した練習を重ね記録を残す事が出来ました。」と新聞が届いております。
3. 来週10月21日(金)に開催されます国際ロータリー第2770地区 職業奉仕部門セミナーのお知らせをさせて頂いております。ご参加の瀬尾拓也会長、田中由佳職業奉仕委員長、長澤幸義職業奉仕副委員長、神谷委員、奥村会員、宜しくお祈いいたします。

4. 公益財団法人ロータリー米山記念奨学会より ハイライトよねやま 199 が届いております。掲示させて頂いておりますのでご一読下さいますようお願いいたします。
5. 臨時理事会のご案内
日時： 10月20日（木） 18：30～
場所： 若松
6. 10月20日（木）の例会は10月23日に開催されます越谷市民まつりの例会変更日となっております。

増進委員長 金杉 豊 様



選考委員長 工藤篤志 様



【委員会報告】

• 社会奉仕委員会 久木野委員長

1. 平成28年10月23日、越谷市民祭りが開催されます。ご参加をお待ちしています。
2. ペットボトルキャップ (60 kg) 集まりました。ご協力、ありがとうございました。

• 青少年奉仕委員会 水町委員長

宮古東RCと協力して、植樹プロジェクトを行います。

【RL I パート2の修了証書・石川勝利会員】



【3分間スピーチ】

ロータリー情報委員会 小林光蔵委員長

RI 地区役員を積極的に希望して下さい。
とても勉強になるので、できるだけ若い方が地区に出向して頂ければと思います。



【お客様卓話】 RI 2770 地区 米山奨学部門 部門委員長 栗原偉憲 様



本日はお招き頂きありがとうございます。私を含め本日は金杉増進委員長、工藤選考委員長と3人で米山記念奨学事業についてお話をさせて頂きたいと思います。

1. 米山記念奨学事業とは

全国のロータリアンの寄付金を財源として、日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援する国際奨学事業です。
※奨学金の支給はすべて、ロータリアンの寄付金で成り立っています。

2. 米山記念奨学事業の目的・使命とは

将来、日本と世界を結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる優秀な留学生を支援することを目的・使命としています。※国際親善と平和への寄与を目的に、奨学生をどのように育てたかを重視しています。（ロータリーはまさに“人づくり”）一言でいえば親日家をつくることです。

3. 米山記念奨学事業の成り立ちは

ロータリー米山記念奨学事業は、「日本のロータリーの父」と言われています 故・米山梅吉氏（東京RC創設者）の功績・偉業を称え（記念して）、米山氏の没後、1952年、東京RCが「海外から優秀な学生を日本に招き、勉学を支援する奨学事業の構想」を立案し、当初はクラブ単独事業としてスタート。その後、全国のロータリークラブに支持され、日本全地区の共同事業へと発展。1967年には文部省の認可を得て「財団法人ロータリー米山記念奨学会」が設立されました。

（2012年1月4日に公益財団法人となりました）現在では、約60年の歴史を持つ、RIに認められた世界に例を見ない、日本のロータリークラブ独自の、34地区による「多地区合同活動」となっています。

4. 採用する米山奨学生の優秀性とは

学業・人物ともに優秀である、ということだけではなく、将来国際社会で活躍する優秀な留学生を支援する事業ですので、

採用する学生に対しては、学業の優秀性はもちろんですが、異文化に溶け込み異文化を理解する能力、およびコミュニケーション能力が求められます。

5. 米山記念奨学会とは

米山記念奨学事業を統括している組織です。役員は、全国のパストガバナーにより構成されています。1967年に文部省の認可を得て財団法人となり、その後2012年1月には公益財団法人「ロータリー米山記念奨学会」に変更になりました。地区の米山委員会は米山記念奨学会で定められた規定・方針に従って活動しています。

※豆辞典P30参照

6. 米山記念奨学事業の特徴その1

日本最大の民間奨学事業（民間レベルでは約110団体あるなかで最大）

年間の採用数、700名程度（2017年度は全国で766名）（2012年度までは800名・・・奨学金・事業費に約14億円必要）奨学金の返還義務なし45歳未満 奨学金受給資格あり

米山記念奨学事業の特徴その2

米山記念奨学事業の最大の特徴は、世話クラブ制度・カウンセラー制度があることです。

経済的な支援だけではなく、奨学生には世話クラブが選ばれ、必ずカウンセラーが選任されます。ロータリーとの深い交流と精神的なケアが行われ、ロータリーの理念等も理解してもらいます。

世話クラブの例会・奉仕活動には積極的に参加してもらいます。

※地区の米山関連の行事は義務出席です。

7. 現在まで、米山奨学生の累計は何名ぐらいになりますか

これまでに支援した奨学生数は、累計で19,197名 (2016年6月現在)

その出身国は、世界124の国と地域に及びます。

8. 第2770地区での奨学生採用数の推移は

本年は31名で9か国の奨学生で構成されています。2017学年度（大貫ガバナー年度）：34名

9. 次年度2016学年度 第2770地区の指定校は

共栄 埼玉 芝浦工業 聖学院 獨協 日本工業 文教の7校です（アイウエオ順）

10. 奨学生の選考について

留学生を指定校から推薦して頂き、候補者を地区ロータリアンが書類審査・面接試験を行い選考します。1999年の基礎調査実施（ロータリアン・大学留学担当者対象）この調査結果により、米山奨学生の対象を「救貧型」から「知的貢献型」へと転換し人物の優秀性を重視。2002年度より指定校・大学推薦制度への施行となりました。

11. 奨学生の奨学金について

奨学金（毎月）学部課程10万円 修士・博士課程14万円 ※豆辞典P25参照

12. 世話クラブ決定方法について

2015年度・2014年度の個人平均寄付額と受入学生数を根拠に基本3次選考まで行います。詳しい選考方法等、自クラブの状況を知りたい場合は米山委員を卓話に呼んでください。

13. クラブ米山記念奨学委員会へのお願い

①地区米山記念奨学委員会行事には積極的な参加をお願いします。

世話クラブのカウンセラー・米山委員長は義務出席となっております。

②毎月の寄付状況は第2770地区ホームページ上に掲載されています。

委員会報告として月に1回は例会にてご報告ください。

③米山月間（10月・3月）において会員への事業理解促進するために、卓話者・講師派遣依頼申込書にご記入の上、地区事務所に送信してください。

④2016年4月より特別寄付金明細書を米山記念奨学会からダウンロードできるようになっています。各会員の寄付状況を個別にお伝えし寄付に対する表彰制度をお伝えください。

⑤米山記念奨学会 (<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>) ホームページを活用してください。

米山奨学生紹介ビデオ・奨学生、学友の活躍、ハイライト米山など米山記念奨学に関する情報が全てわかります。※ハイライトよねやま（毎月1回発行している米山記念奨学会ニュースター）

14. 2015年度寄付状況について

2014年度 個人平均寄付額25,548円⇒26,870円

個人平均寄付率67.7%⇒71.6%（目標75%）

最後に私たちは各クラブを活性化するために活動しています。一人でも多くの優秀な学生を各クラブに預けたいと考えております。今後ともどうぞ宜しくお願いします。



【スマイル報告】

お陰様で
スマイル 37件 50,000円です。

皆様のご協力に、感謝申し上げます。

【出席報告】

例会日	平成28年10月13日		
会員数	51名	出席	30名
出席免除者	8名	欠席	21名
出席率	61.22%	前々回MU	15名
MU修正率	82.98%	会報担当：荒井	

————— クラブプロフィール —————

- 【姉妹クラブ】 国際ロータリー第3460地区
台中南区扶輪社（中華民国台中市）
- 【友好クラブ】 国際ロータリー第2520地区
宮古東ロータリークラブ
- 【例会日】 毎週木曜日（PMO：30～1：30）
- 【例会場・事務局】 〒343-0842
越谷市蒲生旭町 10-14 中野ビル2階
TEL 048-987-5761
FAX 048-987-5762
E-mail info@koshigayasouth-rc.jp